

# 第78回定期大会 コロナに負けず みんなの声と力を合わせ職員の 健康第一の職場を実現しよう！



全国税は11月28日、都内で第78回定期大会を開催しました。今年の大会はコロナ禍の中で開催したため、各地連選出の代議員と執行委員の一部はリモートでの参加となりました。大会では、コロナ禍での調査・徴収の事務運営の在り方、内部事務のセンター化の実態が報告され、職員の健康を重視した運動方針が満場一致で決定されました。



発行所  
東京都千代田区霞ヶ関  
財務ビル内 (〒100-0013)  
全国税労働組合  
発行人 木村 和由  
電話 (03) 3581-3678  
FAX (03) 3507-0886  
振替口座 00140-2-68514

“税務の職場”  
何でも110番  
zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号まで)。

◇ 全国税ホームページ ◇  
<http://www.kokko-net.org/zenkokuzei>

## 高橋誠中央執行委員長挨拶 (抜粋)

新型コロナウイルス感染症拡大とその防止により、今年の3月より一般の実地調査を中断しておりました。この間、更正の請求や欠損金の繰戻し還付請求、消費税の還付申告への対応など、納税者に有利になる対応については実施されてきました。これは、組合としても容認してきたものです。

しかし当局は、この10月から一般の実地調査の再開に舵を切りました。職員からも当然、この時期の再開については問題がある。時期尚早ではないかという声がある中で、経済が動き始めているからという理由で再開が強行されました。当然、10月2日に行われた今回の1回目の長官団交で、調査再開に反対をし、職員のいのちと健康を守る施策に転換するよう求めてきました。

東京局では年内中に2件の着手が指示されています。



リモート大会風景

## 大会宣言 (抜粋)

新型コロナウイルス感染が続く中、職場では通常の業務をすることができず、感染症にかかるリスクと不安を抱えながら、特例だらけの仕事をしています。

職場の要求課題では、専科採用者の管理運営部門一律配置が廃止されました。永年当局を追及し続けてきた運動の成果です。また、全署の総合窓口相談専用電話が設置され、この事は、管理運営部門から相談業務を切り離す第一歩です。

半面、庁は調査・徴収事務の効率化・高度化を課題とし、さまざまな施策を導入しています。内部事務の要員を削減し、調査・徴収に人員を振り向ける目的で、内部事務のセンター化の試行が行われて、2026事務年度に全署で実施する予定です。

調査・徴収事務のマネジメント強化、確定申告事務の一層のスリム化による調査・徴収事務量の確保、内部事務のセンター化の拡大など、職員をさらなる労働強化にかりたてており、職員の精神的・肉体的負担で乗り切ろうとしています。

こうした中、私たちは国税労働者の命と健康を守るため労働強化に反対し、国税労働者の多様な要求を実現するために職場の仲間と手を取り合って運動することを決意するとともに、職場の仲間に対して、全国税の運動と組織への参加を熱く訴える。

—以上、宣言する—

全国税労働組合第78回定期大会

## 新役員紹介

【中央執行委員長】  
高橋 誠 (東京中)  
【副中央執行委員長】  
稗田 慶三(兵 庫)  
林 登美夫(埼 玉)  
【書記長】  
木村 和由(東京東)  
【書記次長】  
真貝 正治(埼 玉)  
【執行委員】  
長沼 敦志(道 中)  
田山 文武(宮 城)  
高橋 浩司(埼 玉)  
館 豊 (東京南)  
一森 進治(東京南)  
羽柴 哲司(富 山)  
寺坪 剛 (愛 知)  
前川 幸徳(香 川)  
【会計監査委員】  
北原 幸久(東京中)  
【統制委員会議長】  
蔵原 保一(東京西)  
【退任された役員】  
小林 寛昭(東京中)  
池野谷 正美(愛知)  
坪井 弘一(東大阪)  
ご苦勞様でした。



